

研究・調査報告書

報告書番号	担当
70	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol drinking pattern and non-fatal myocardial infarction in women. 女性における飲酒パターンと非致死性心筋梗塞	
執筆者	
Dorn JM, Hovey K, Williams BA, Freudenheim JL, Russell M, Nochajski TH, Trevisan M.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Addiction. 2007 May;102(5):730-9.	
キーワード	
アルコール、飲酒パターン、疫学、心筋梗塞、女性	
要 旨	
<p>目的：</p> <p>飲酒パターンが循環器疾患危険因子について重要な意味を持つというエビデンスが種々報告されてきているが、その大部分は男性についてのものである。本研究では、35 から 69 歳の女性におけるアルコール摂取量、飲酒パターンと非致死性心筋梗塞 (MI) の関連を検討する。</p> <p>方法：</p> <p>population ベースの症例対照研究 (1996-2001 年)。NY 州西部の病院の MI 症例 320 名と motor vehicle rolls and Health Care Financing Administration より選ばれた 1565 名の対照例を対象とした。対照については面接の前の、症例については MI 発症の 12-24 ヶ月前におけるアルコール摂取量と飲酒パターンを詳細に評価した。</p> <p>結果：</p> <p>症例と対照のうち、13%が飲酒歴のない者であった。現在飲酒者は平均 1 日あたり 2.3±2.2 ドリンクを摂取していた。飲酒歴のない者と比較して、現飲酒者は心筋梗塞の発症が少ない傾向があった (オッズ比(OR), 0.67; 95%信頼区間(CI), 0.43 - 1.03)。アルコール摂取量、飲酒日 1 日あたり飲酒量、および飲酒頻度は MI 発症と負の関連があった (P trends < 0.001)。ワインを飲む者 (OR, 0.56; 95% CI, 0.33 - 0.96) と複数の種類の酒を飲む者 (OR, 0.56, 95% CI, 0.31 - 1.01) では、飲酒歴のない者と比較して MI 発症オッズは低かった。現在飲酒者のみでアルコール摂取量や飲酒頻度との関連をみたときの関連は、非飲酒者を対照とした場合よりも若干弱かった。一方、1 カ月に 1 回以上酩酊状態となることは、MI リスクは非飲酒者と比較して上昇し (OR, 2.90; 95%CI 1.01-8.29), 現在飲酒者で酩酊状態となったことのない者と比較しても上昇した (OR, 6.22; 95%CI 2.07-18.69)</p> <p>結論：</p> <p>少量から中等量の飲酒者の集団で、女性においてアルコール摂取は全体に MI リスクの減少と関連していた。しかしながら酩酊状態は、かなりなリスク上昇と関連していた。</p>	